各 位

会 社 名 株式会社 百 五 銀 行代 表 者 名 取 締 役 頭 取 前 田 肇 (コード番号 8368 東証第1部 名証第1部)問合 せ 先 企画ゲループ マネージ・ヤー 伊藤 歳 恭 (TEL 059-227-2151)

## 四半期情報の開示について

当行の平成 16 年 3 月期 第 1 四半期 (平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 6 月 30 日)における四半期情報について、お知らせします。

(注)以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

権

破産更生債権及び

これらに準ずる債権

債

危 険

平成 14 年 12 月末

(単位:億円)

367

305

(参考)	(単位:億円)
平成 15	年3月末
(実	績)
	325
	399
	288

- (注)上記の四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。
  - 1. 各四半期末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、年度末又は中間期末における債務者区分をベースとし、各四半期中に倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに行内格付の引下げ等があった債務者について、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行った結果に基づき各四半期末時点の残高を記載しております。
  - 2. 各四半期末の「要管理債権」の金額は、年度末又は中間期末における「要管理債権」のうち、各四半期中に「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」に変更になった債権を除き、新たに3カ月以上延滞となった債権及び新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加えた結果に基づき各四半期末時点の残高を記載しております。
  - (参考) 自己査定債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(破綻先、実質破綻先の債権)

平成15年6月末

348

374

283

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、元金又は利息の支払が3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 自己資本比率(国内基準)

 平成 15 年9月末(予想値)

 連 結 自 己 資 本 比 率
 9.4 %程度

 連 結 T i e r I 比 率
 7.7 %程度

(参考)

平成 15 年3月末(実績)	
9.37 %	
7.75 %	
1.10 70	

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

#### 3. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

(単位:億円)

(参考)		(単位	7:億円)
	年3月末		
時 価	評価差額	額	
		うち益	うち損
11,718	599	631	32
777	305	320	15
7,352	262	266	4
3,587	32	45	13

- 平成 15 年6月末 平成 14 年 12 月末 時 評価差額 時 評価差額 価 価 うち益 うち損 うち益 うち損 その他有価証券 12,703 682 716 33 11,513 604 678 74株 式 896 425 430 4 875 336 391 55 券 7,230 210 222 11 7,490 243 246 3 他 4,577 46 63 16 3,147 24 40 15
- (注)1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末時点の帳簿価額(償却原価法適用前、減損処理前。)と時 価との差額を計上しております。
  - 2. 有価証券のほか、信託受益権等も含めております。
  - 3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式で時価のあるものはあり ません。

(単位:億円)

(参考) (単					江:億円)	
	平成 15 年3月末					
	帳	簿	含み損	益		
	価	額		うち益	うち損	
		645	1	1	0	

(1)										
	平成 15 年6月末					平成 14 年 12 月末				
	帳	簿	含み損益			帳	簿	含み損益		
	価	額		うち益	うち損	価	額		うち益	うち損
満期保有 目的の債券		659	2	2	0		24	1	1	

#### 4. デリバティブ取引(単体)

### (1) 金利関連取引

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

区		平成 15 年6月末			平成 14 年 12 月末					
分	種類	契約額等	時	価	評価損益	契約額等	時	価	評価損	益
店頭	金利スワップ	21	Δ	0	Δ 0	19	Δ	0	Δ	0

平成 15 年3月末						
契約額等	時	価	評価指	益		
21	Δ	0	Δ	0		

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

# (2) 通貨関連取引

(単位:億円)

(	(単位・倍円)

		平	成 15	年6月	末	平月	成 14 年 12 月	末
分	種類	契約額等,	時	価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
rt:	通貨スワップ	236	Δ	1	$\triangle$ 1	178	0	0
店頭	為替予約	2,769	Δ	26	△ 26	_	_	_
項	通貨オプション	345		4	$\triangle$ 1		_	_

平成 15 年3月末							
契約額等	時 価	評価損益					
219	0	0					
_							
_							
レンナンルナー	<b>-</b>						

- (注)1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注3. の取引は、上記記載から除いております。
  - 2. 従来、引き直し対象の先物為替予約、通貨オプション等は、当四半期からは上記に含めて記載しております。
  - 3. 期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。 なお、従来、期間損益計算を行っていた通貨スワップ取引は、当四半期からはヘッジ会計を適用しておりますので、下記 記載から除いております。

(単位・億円)

_(参考)	(単位:	億円)
	平成 15 年3月末	

				(十四.1811)
種類	平月	成 14 年	12 月	末
種類	契約額等	時	価	評価損益
通貨スワップ	77	Δ	2	$\triangle$ 2

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行っている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記 のとおりであります。

(畄位・倍田)

						(単位	江:億円	)
1.1.				平成 14 年 12 月末			末	
種			類	契	約	額	等	
為	替	予	約			1	,430	
通	貨オ	フ゜シ	э У				136	

(参考) (単位:億円)

3	平成 15	年3月	末	
契	約	額	等	
		1	,816	
			221	

- (3) 株式関連取引 該当ありません。
- (4) 債券関連取引 該当ありません。
- (5) 商品関連取引 該当ありません。
- (6) クレジットデリバティブ取引

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

E.		平	平成 15 年6月末			平成 14 年 12 月末		
区   分 	種類	契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益	
店頭	クレジット・デフォルト・ オ フ゜ション	91	(	0	30	0	0	

(%)	(平位:			
平成 15 年3月末				
契約額等	時 価	評価損益		
80	0	0		

(注)へッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

分 店 頭

5. 預金等・貸出金の残高(単体)

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

			(
		平成 15 年6月末	平成 14 年 12 月末
預	(金等(譲渡性預金含む)	33,961	32,985
	うち個人預金	25,674	25,422
貸	出金	20,013	20,423
	うち消費者ローン	4,491	4,415

平成 15 年3月末
33,001
25,203
20,279
4,472

以 上